



真宗大谷派 存明寺通信

NO.175

2016年(仏歴2547年)11月2日発行

祝 婚 歌

吉野 弘

二人が睦まじくいるためには
愚かであるほうがいい
立派すぎないほうがいい
立派すぎることは
長持ちしないことだと
気付いているほうがいい

かんへき
完璧をめざさないほうがいい
完璧なんて不自然なことだと
うそぶいているほうがいい
二人のうちどちらかが
ふざけているほうがいい
ずっとつけているほうがいい

互いに非難することがあっても
非難できる資格が自分にあつたかどうか
あとで
疑わしくなるほうがいい
正しいことを言うときは
少しひかえめにするほうがいい
正しいことを言うときは
相手を傷つけやすいものだと
気付いているほうがいい

立派でありたいとか
正しくありたいとかいう
無理な緊張には
色目を使わず
ゆったり ゆたかに
光を浴びているほうがいい

健康で 風に吹かれながら
生きていることのなつかしさに
ふと 胸が熱くなる
そんな日があつてもいい
そして
なぜ胸が熱くなるのか
黙っていても
二人にはわかるのであつてほしい

久しぶりに祝婚歌を読み返してみた。
今は亡き仲人の藤森教念さんが、私たち
の結婚式で読んでくれた詩だ。あれから
20数年。同じことを繰り返しているか
らだろうか。今も言葉が新鮮に響く。
教えを聞くということは、わが身を照
らす言葉に、出遇い続けていくというこ
と。言葉の響きを聞いていこう。(義)



ぞんみょうじ 存明寺HP、随時更新中 しんらん であ 親鸞と出遇うお寺

<http://www.zonmyoji.jp>

しんらん

親鸞さまはひとりと出遇うというこ

であ

とても大切にされた方です。

いつまでも若くて健康で

いつまでも若くて健康で、苦しいことはあまり経験せず、自分の思い通りに生きていきたい。人は皆誰もが、心の奥底でそう思いながら生きているのではないだろうか。

しかし、このような思いは、実は大きな問題をはらんでいます。希望通りに生きていけるうちはいいのですが、老いや病気・思い通りにならない現実、直面した時に、それらを嫌い、捨ててしまうということが起こってくるからです。その結果、時に他者を傷つけ、時に自らをも傷つけてしまうことがあるのではないのでしょうか。

出会いの欠如

2016年7月下旬、神奈川県相模原市の障害者施設で、19人が死亡、27人が負傷するという凄惨な事件が起きました。犯人は「障害者など

いなくなればいい」と語ったと伝えられています。

彼の考えと行為を正当化することとはまったくできないことです。そして、そんなことは、絶対にしてはならないことです。

彼は「障害者の人たちは何を考えているのかからず怖い」と語ったそうです。「障害者の人たち」、これは人間をひとくくりに見た見方です。

そこに出会いが欠如したまま、自らの先入観で人間をひとくくりにして語ってしまうという、大きな畏れが存在していることを感じます。

事件の被害者家族は「息子は障害があり、何もできないが、私たちのいとおいしい子ども」「赤ん坊のような受け答えしかできないが、目に入れても痛くないほど大切な存在」と語られました。そこにその人の障がいを抱えながら生きた歴史があり、

人に囲まれて生きてきた歩みがあることを感じます。

殺されても良いのちなど、存在しないのです。

やがて彼は自分をも殺す

彼も縁が熟せば、いつだって障がいを抱えることになる身を生きています。障がいを抱えながら生きていく可能性は、彼にだってあるのです。「いなくなればいい」という考えは、そんな時に、自らに牙をむきます。

「自害害彼」（仏説無量寿経27ページ）。つまり彼を害することは、同時に自らを害すること。障がい者を認めないという彼の考えは、やがて、自らをも殺すこととなるのです。彼はやがて自分をも殺してしまえるのです。

無残なことです。悲しい在り方です。

ひとりと出会う

親鸞さまはひとりと出遇うというこ

す。『御文』（二―760ページ）には、「親鸞は弟子一人もたず」とあります。その理由として「とも

同行なるべきものなり」とあり、また「御同朋・御同行とこそかきずきておせられけり」と語られています。

目の前にいるひとりの人を「かきずきて」、つまりいていねいに敬いをこめて、「御同朋御同行」、つまり道を求めて歩む人よと呼び親しまれたのです。

老少善悪・賢哲愚夫・豪貴鄙賤を選ばず、道を求めるひとりの人として見いだされた親鸞さまがここにおられます。

そこには、障がいを抱えたひとりの人を、じつと見つめ続けるあたたかな精神があることを強く感じています。

(住職・釋諦信)

御同朋

御同行

とこそ

かきずきて

仰せられ

けり

蓮如 御文より

■しんらん交流ひろば★樹心の会

今も生きてはたらく親鸞さまに出遇うひととき…。定期的に開催されている教えを学ぶ広場です。

初めに本堂で正信偈のお勤めをします。その後、客殿にてお話を聞きます。お話は住職と門徒有志。

その後、3班に分かれて語り合いの時間です。自分の言葉で自分を語ります。そして最後に全体会。班報告やお知らせなどがあります。散歩に出かける気軽さでどうぞ。

【上半期】 3月～6月（4回）

【下半期】 9月～12月（4回）



樹心の会の9月の風景。人の話は、しっかり聞く。

■グリーンケアのつどい

亡き人を憶い、自分を振り返る時間が静かに流れます。年に4回、季節ごとに開かれる、大切な方を亡くした人々のつどいです。

第1部は、仏教儀式の時間です。嘆仏偈というお勤めをします。

第2部は、酒井住職のミニ法話。

第3部は、語る時間。自らの思いをゆつたりと語る時間です。

第4部は、音楽鑑賞の時間。その日の一曲を聞きながら、ひとことコメントを書いていきます。

亡き人を 偲んで憶う 四季の寺



グリーンケアのつどい。真ん中には境内のすずき。

■ぞんみょうじこども食堂

月に一度はお寺でキーマカレー。毎月一回開かれるこども食堂です。スタッフ8名が毎回心込めて作る4種の栄養たっぷりキーマカレー。下は0歳児から上は30～50代までの、50～70人の方々が集まって来られます。

食事と交流。こども食堂はこの二つを大事にしています。そして名前を呼び合えるような関係が開かれることを願っています。

この動きへの資金援助を募集しております。よろしく願います。



ぞんみょうじこども食堂、夏の食堂の様子。

■日帰り・川越への旅

10月1日、総勢27名が川越に集合。まずは法善寺さまへ参拝します。ご住職より「観の心」と題したお話を拝聴しました。

その後、蔵造りの街並みや菓子屋横丁を散策。お菓子や焼きとりの食べ歩きを楽しみながら。

夕方は「いも膳」にてお酒を頂きながら、すべてがさつま芋で料理された懐石料理に舌鼓。このうえない幸せを感じる瞬間です。

存明寺一行ならではの、笑いの渦に満ちた盛り上がりで、あっという間に時間が過ぎていきました。



日帰り・川越への旅。10月、法善寺様にて。

お寺のひろば 年末～2017年（平成29年）

年内の催し

11月26日(土) 2時～ 樹心の会
 12月10日(土) 2時～ 樹心の会
 12月17日(土) 2時～ グリーフケアのつどい

2017年の催し

1月1日(日) 10時～ 修正会
 3月11日(土) 2時～ 樹心の会
 3月20日(月) 11時・13時 春のお彼岸法要
 3月25日(土) 2時～ グリーフケアのつどい
 4月8日(土) 2時～ 樹心の会
 4月28日(金) 10時～ おみがきのつどい
 5月3日(水) 12時～ 永代経法要
 5月13日(土) 2時～ 樹心の会
 6月10日(土) 2時～ 樹心の会
 6月24日(土) 2時～ グリーフケアのつどい
 7月8日(土) 11時～ 新盆合同法要
 7月13日(木) 11時と13時 おぼん法要
 8月26日(土) 2時～ 青年のつどい
 9月9日(土) 2時～ 樹心の会
 9月23日(土) 11時と13時 秋のお彼岸法要
 9月30日(土) 2時～ グリーフケアのつどい
 10月7日(土) 2時～ 樹心の会
 10月28日(土) 10時～ おみがきのつどい
 11月2日2時～・3日12時～ 報恩講法要
 11月11日(土) 2時～ 樹心の会
 12月2日(土) 11時～ 仏弟子入門「帰敬式」
 12月9日(土) 2時～ 樹心の会
 12月16日(土) 2時～ グリーフケアのつどい



しんらん交流ひろば

樹心の会

11月26日(土) 2時～5時
 12月10日(土) 2時～5時

お話し：藤井俊五総代
 酒井義一住職
 日程：勤行・お話し・語り合い
 全体会
 会場：真宗大谷派 存明寺
 会費：500円（茶菓子の点心付き）

【あしがき】

▼全国各地のお寺にお邪魔する機会が増えてきました。この秋は、北海道・青森・能登・大阪・大分・鹿児島などを訪問。
 ▼それぞれの地域で大谷派の友人たちが、様々な取り組みをしています。現状に危機感を抱き、真摯に真宗復興の情熱を燃やし続けています。まぶしく輝きながら。「よし自分も」、そんなやる気が起こってきます。
 ▼人は人に出会い、刺激を受けて、新たに歩みだす存在。そんな思い、新たにする晩秋。(義)

ぜひご参詣ください。

年のはじめの修正会

1月1日(日) 午前10時～

内容：法要・年頭法話・乾杯・感話
 書き初め・おしるこ
 法話：酒井義一存明寺住職
 感話：藤井俊五総代・佐藤尚宏総代
 会場：真宗大谷派 存明寺
 ご家族お揃いでどうぞお参りください。



お寺の池でザリガニ釣り

東京都世田谷区北鳥山4-15-1
 真宗大谷派 存明寺
 住職 酒井 義一
 〒157-0061 TEL 03-3300-5057
 FAX 03-3300-5880
 E-mail : sakai@zomyoji.jp